

令和3年度

一般社団法人北海道まちづくり協議会



まちづくり研修会

“人口減少下でのまちづくりと地域交通”

今年度の「まちづくり研修会」は、

道内地方都市の共通課題である人口減少時代を迎える中での地域公共交通ネットワークのあり方や考え方をテーマに「人口減少下でのまちづくりと地域交通」に着目して開催します。

これまで各自治体の市街地は、人口や世帯数の増加と共に拡大し、地域の交通ネットワークの構築もその歩調に合わせて進められてきました。しかし、人口減少(少子高齢化)が避けられない状況の下、各自治体はまちづくりや都市計画に併せた地域の公共交通(交通ネットワーク)のあり方や運用等について、限られた財政のなかで様々な課題を抱えていると感じています。今回はNPO法人まちづくり支援センター代表理事であり、国土交通省関東運輸局の地域公共交通マイスターとしてご活躍の為国孝敏氏をお招きし、コンパクトなまちづくりと連携した地域公共交通ネットワークの取組み等のご講演をいただき、その後は、まちづくりや都市計画において様々な事業を展開しているUR都市機構東日本都市再生本部北海道まちづくり支援事務所長 門田高朋様と都市・地域交通システムについてご研究をされている北海学園大学の鈴木聡士教授を交えて意見交換を行うプログラムとしています。

令和3年

12月8日(水)

14:00~16:30 (13:30開場)

会場：北海道立道民活動センター
かでの2・7

(10階 1060会議室)

(札幌市中央区北2条西7丁目
道民活動センタービル)

参加料：500円 (テキスト代含む)

※1団体4名以上の場合は1団体当たり1,500円となります。
また、学生は無料です。

お申し込み(定員50名)

裏面の申込み用紙又は、Eメールにて、12月3日(金曜日)までにお申し込みください。

新型コロナウイルス感染症対策のため、参加者は50名(会場収容率の50%以内)としています。申し込みは、定員に達し次第、締め切らせていただきます。

講演者

為国 孝敏氏

(NPO法人まちづくり支援センター 代表理事、
博士(工学) 国土交通省関東運輸局地域公共交通マイスター、
総務省地域力創造アドバイザー、
株式会社T.O. パートナース代表取締役筆頭代表)

基調講演

これからのまちづくりと地域交通に求められるものは

門田 高朋氏

(UR都市機構 東日本都市再生本部 北海道まちづくり支援事務所 所長)

意見交換 出演者

鈴木 聡士氏

(北海学園大学 工学部生命工学科 教授)

意見交換 コーディネーター

プログラム

14:05 - 15:10 基調講演

「これからのまちづくりと地域交通に
求められるものは」(為国 孝敏氏)

15:10 - 15:20 休憩(換気)

15:20 - 16:20 意見交換

出演者：為国 孝敏氏

門田 高朋氏

コーディネーター：鈴木 聡士氏

(北海学園大学 工学部生命工学科 教授)

令和3年度 まちづくり研修会

参加申込書

● 次のとおり令和3年度まちづくり研修会の参加申込をします。

団体（法人）名			
TEL.		FAX.	
お名前（代表申込者）	所属部署・役職		
Eメール	CPDプログラム 受講証明書		要・不要

● 複数でお申し込みの場合は下の欄にご記入ください。

	お名前	所属部署	Eメール	CPDプログラム 受講証明書
1				要・不要
2				要・不要
3				要・不要
4				要・不要
5				要・不要
6				要・不要

お申し込み先／一般社団法人北海道まちづくり協議会 TEL.011-232-0926

FAX.011-222-5697 Eメール：info-ad@kitamachi.org

申し込み締切／12月3日（金）までにFAXまたはEメールでお申込みください。

申し込みいただけると、自動的に参加となります。当協議会からの返信はありません。

▶ 講師・登壇者プロフィール



為国 孝敏氏

1959年北海道網走郡津別町生まれ。北見柏陽高校、日本大学理工学部交通工学科卒業、1983年日本大学大学院理工学研究科（交通土木工学専攻）修了。1995年博士（工学）の学位取得（日本大学）。社団法人土木学会、栃木県内の大学教授を経て、2006年10月にまちづくりNPO（足利市）を主宰。2016年4月に交通コンサルティング会社（東京都）を設立。栃木県足利市在住。全国各地で、地域公共交通、地域ブランド・シティプロモーション、観光やまちなか活性化、都市計画等のまちづくり活動に関する企画・計画づくりのコーディネーター、人材育成・研修・創業塾の講師や、各種の講演など、幅広く実践活動に携わる。



門田 高朋氏

1988年3月北海道大学大学院理工学研究科（土木工学専攻）修了、同年4月住宅・都市整備公団（現、独立行政法人都市再生機構）入社。主に首都圏での市街地開発事業等（土地区画整理事業、市街地再開発事業、関連公共施設整備等）の都市計画及び事業計画関連業務に従事。2015年本社都市再生部都市施設整備室リーダー、2017年首都圏ニュータウン本部千葉常磐業務部長を歴任。2019年4月より現職。札幌都心・真駒内、函館西部等において、地方公共団体や地域の皆様のニーズに応じ、様々なツールを組み合わせながらまちづくりを支援中。



鈴木 聡士氏

2002年3月北海学園大学大学院理工学研究科博士（後期）課程修了後、Vrije Universiteit Amsterdam客員研究員等を経て、2013年4月より現職。北海道開発局事業審議委員会委員、北海道都市計画審議会会長代理、北広島市総合計画推進委員会委員長、北広島市地域公共交通活性化協議会・副委員長等、数多くの公職を務めている。